

セッション1(1) 優秀発表賞対象発表 6月25日(口頭発表 9:50~10:40)

S1-01 Acidification behavior of simulated acid sulfate soils

○サーマ プルバシュリー・地井直行・佐藤靖彦(西松建設)・高井敦史・勝見武(京都大学)

S1-02 Geochemical evaluation of pilot-scale passive treatment system of manganese and zinc at a legacy mine in Japan

○TUM Sereyroith・片山泰樹(産業技術総合研究所)・宮田直幸・渡邊美穂(秋田県立大学)
・保高徹生(産業技術総合研究所)

S1-03 吹付コンクリート由来のアルカリ性物質が付着したトンネル掘削ズリの重金属等溶出特性およびpH変化

○岡田雄臣・安田浩一朗・長谷川愛子(日本工営)・成田 朗(北上土木センター)

S1-04 重金属不溶化・吸着層工法のCO₂排出量の試算

○勝木楓示・三浦英俊・平野卓也・黒澤良太(JFEミネラル)

S1-05 雨水曝露試験による模擬酸性化土の酸性化挙動に関する考察

○地井直行・Purbashree Sarmah・佐藤靖彦(西松建設)・高井敦史・勝見武(京都大学)

S1-06 不溶化鉄粉混合条件における貝殻等吸着材によるフッ化物イオンの除去

○天摩伊吹・晴山渉(岩手大学)

S1-07 黒鉛付着鉄粉による有害物質除去

○松本教介・上條友綱・加藤剛・切石まどか・久保洋平(神戸製鋼所)

S1-08 酸化鉄シートによる重金属吸着機能を付与した盛土排水処理に関する検討

○湯浅啓太・森田一太(石原産業)

S1-09 せん断面を有する吸着層のヒ素捕捉性能に関する実験的検討

○余栄光・緒方里帆・加藤智大・高井敦史・勝見武(京都大学)

S1-10 土壌抽出液を溶媒としたバッチ吸着試験による吸着材の性能評価

○西方美羽・藤井和美(産業技術総合研究所)・加藤智大(京都大学)・保高徹生(産業技術総合研究所)

S1-11 NLDHを用いたバングラデシュ国におけるヒ素汚染された地下水浄化事例

○有江駿・谷川元治・井上陽介(日本国土開発)

S1-12 Effects of soil compaction on arsenic leaching in as-spiked soil

○唐佳潔・尾崎皓太・小林泰三(立命館大学)

S1-13 原位置化学処理(還元分解)に関する適用可能性試験の検討

○藤井雄太・羽瀧博臣・森岡錦也・水柿貴史・三浦英俊・土壌汚染の除去等の措置の適用可能性試験
に関する調査・検討部会(第2期)(土壌環境センター)

S1-14 NaCl濃度2%で集積培養した脱塩素化細菌叢の各NaCl濃度での脱塩素化活性と菌叢解析

○加藤雄大・小松大祐・黒岩洋一・田崎雅晴(清水建設)・辻陽平・吉田奈央子(名古屋工業大学)

S1-15 帯水層厚が大きいCVOCS汚染サイトの原位置微生物処理の施工事例

○藤原直也・森一星・日野良太・藤井雄太・佐藤祐輔・福武健一(大林組)

S1-16 ケイ酸を活性化剤とした過硫酸法による1,4-ジオキサン浄化手法の開発

○向島樺音・晴山渉(岩手大学)・西田憲司・佐藤祐輔・森一星・緒方浩基(大林組)

S1-17 令和6(2024)年度における埼玉県地下水中PFOS及びPFOA調査

○高沢麻里・柿本貴志・濱元栄起・石山高・茂木守(埼玉県環境科学国際センター)

企業PRプレゼン 6月25日(口頭発表 10:40~10:50)

K-1 応用地質株式会社

未規制物質「PFAS」の調査事例を交えた調査と対策のご提案

○嶋本直人・浅野裕一・竹村建人・山田大介・青木勝宏

K-2 室町ケミカル株式会社

液体処理技術のご提供 有機フッ素/無機フッ素除去技術、有害金属除去/貴金属回収

○古田絢裳・前原加奈子・島村宗孝・出水丈志

セッション1(2) 優秀発表賞対象発表 6月25日(口頭発表 10:55~11:50)

- S1-18 有機物または非晶質鉄・アルミニウムを化学的に除去した土壌のPFOSおよびPFOAの収着・脱着性
○吉田悠人(明治大学)・松神秀徳・肴倉宏史(国立環境研究所)・加藤雅彦(明治大学)
- S1-19 活性炭によるPFAS含有土壌からの溶出抑制効果の適用性検討
○外野圭太・山崎祐二(竹中工務店)・谷保佐知・山下信義(産業技術総合研究所)
- S1-20 PFAS含有地下水における浄化装置の運転及び維持管理の手法
○新垣千紘・高柳宏(太名嘉組)・草場周作・安原雅子(エンバイオ)・西村聡・山内仁(流機エンジ)
- S1-21 電気分解法、電気透析膜法によるPFAS汚染地下水の浄化
○劉佳星(福岡大学)・ブラーツ湊 初枝(テラサーモアジア)・兪靈傑・為田一雄(福岡大学)
・島田雄太郎(テラサーモアジア)・樋口壯太郎(NPO環境技術支援ネットワーク)
- S1-22 鉱物系特殊吸着材のPFOA吸着処理に関する検討
○大久保敬祐・山野辺純一(ケミカルグラウト)
- S1-23 種々のイオン交換樹脂を用いたPFAS吸着と再生の検討
○古田絢姿・前原加奈子・島村宗孝・出水丈志(室町ケミカル)
- S1-24 凝集沈殿処理による有機フッ素化合物(PFAS)の除去について
○佐俣莉子・青木陽士・安東大弥・隅倉光博・加藤雄大・倉部美彩子(清水建設)
- S1-25 水処理技術の導入によるPFOS等含有廃棄物の減容化
○國井聡・林夕紀子・森川純・芳賀直樹(前田建設工業)
- S1-26 PFAS多項目の低コスト・迅速測定法の開発
○町田瑞希・関友博・野島智也・Rosamond Tshumah-Mutingwende(ユーロフィン日本環境)
- S1-27 紫外線可視分光光度計を用いた土壌中のナノプラスチック濃度の新規測定手法の検討
○土田恭平・井本由香利・斎藤健志・原淳子(産業技術総合研究所)・川辺能成(早稲田大学)
- S1-28 土壌からのマイクロプラスチック抽出と熱分解GC/MSによる定量分析
○各務希海・辰野宇大・柏木淳一(北海道大学)・斎藤健志(産業技術総合研究所)・竹村貴人(日本大学)
・濱本昌一郎(北海道大学)
- S1-29 竹資材を用いた油含有土壌のバイオ処理に関する適用可能性試験
○花岡也々子・西川直仁・日野良太・馬場俊介(大林組)・前泉匡宏(国元商会)・椎葉究(東京電機大学)
- S1-30 仮想的な原子力災害で発生した汚染土壌・廃棄物の社会受容性の国際比較
○武田理熙(北海道大学)・高田モモ(産業技術総合研究所)・村上道夫(大阪大学)・大沼進(北海道大学)
・白井浩介・保高徹生(産業技術総合研究所)
- S1-31 地下水モニタリングのAIを活用した未来予測
○三原優大・早澤敬一(Daigasガスアンドパワーソリューション)・豊田浩司(大阪ガス)
- S1-32 難透水層の土粒子内部から帯水層への物質移動を想定した二段階拡散モデルにおける各パラメーターの影響
○鈴木熨士(奥村組)・肴倉宏史(国立環境研究所)・小河篤史・清水祐也(奥村組)・高井敦史(京都大学)
- S1-33 土壌汚染対策におけるGNSSの活用法
○肖 奥博・吉田宗久(奥村組土木興業)・児玉晃・鍵本司(KGS)
- S1-34 地歴調査に係る実務経験者の暗黙知の整理
○中澤昌俊・吉田宗久・長千佳・大岡啓史(土壌汚染対策コンソーシアムWG)

企業PRプレゼン 6月25日(口頭発表 11:50~12:00)

K-3 アジレント・テクノロジー株式会社

土壤中の金属分析に有用な分析自動化ソリューションADS 2およびLC/MSによるPFAS分析最前線

○嶋田翔太、今野靖、遠藤政彦

K-4 株式会社 エービー・サイエックス

SCIEXが提供するPFASソリューション

○内海貝

セッション2 6月25日(口頭発表 14:55~16:30)

S2-01 酸化還元環境変化が与える掘削岩からの砒素溶出特性への影響評価手法の検討

○清水祐也・鈴木奨士(奥村組)・大河原正文(岩手大学)

S2-02 異なる0.45 μmメンブレンフィルターの粒子通過率の比較

○井本由香利(産業技術総合研究所)

S2-03 牛骨由来の第二リン酸カルシウム(DCP)の土壤混和による植物のふっ素影響軽減効果の実証

○赤木功・樗木直也(鹿児島大学)・岡嶋夏輝・塚本啓司・森岡保夫(新田ゼラチン)・袋布昌幹(富山高等専門学校)

S2-04 重金属等を含有する掘削岩石を用いた実大盛土実験における重金属等の溶出挙動について(その3)

○佐藤敏雄・山口尚宏・門間聖子・宮口新治・西本彩香・大野敦史(応用地質)

S2-05 水銀汚染土壌・地下水の浄化に寄与する微生物の安全性評価

○根岸敦規・中村孝道・北條紗也・三浦七海(安藤ハザマ)・竹内文章(岡山大学)
・杉尾剛(杉尾化学合成独立栄養細菌研究所)

S2-06 黄鉄鉱の酸化と地下水質への影響

○石山高・濱元栄起・柿本貴志・高沢麻里(埼玉県環境科学国際センター)

S2-07 カラム試験を用いたラテライトの潜在的なヒ素吸着量の推定

○中村謙吾・Nayaka Bandara, N.B.I.M.N.・藤崎鉄心・須加陽介・松野晃大・川本健(埼玉大学)

S2-08 バイオ製剤を用いた高濃度ジクロロメタンの土壤浄化事例

○内田篤貴・伊藤明・芳賀紀行・古賀文晴(日本物理探査)・岩橋さおり・鴻野雅一(バイオレンジャーズ)

S2-09 新規脱塩素化細菌Dehalogenimonas sp. NIT-SK1株の脱塩素化活性

○小松大祐・加藤雄大・黒岩洋一・渡辺菜月(清水建設)・辻陽平・吉田奈央子(名古屋工業大学)

S2-10 揮発性有機塩素化合物の不飽和土壌中での各相への分配の測定と基準値の意味の考察

○山関一聖・小林剛・鄭桐偉(横浜国立大学)

S2-11 調査事例にもとづく井戸分布等調査方法の検討

○今秀行(興亜開発)

S2-12 PFAS汚染土壌の土壤洗浄における懸濁水処理の検討

○埴隆之・毛利光男・設楽和彦・Mark Sueyoshi・平澤卓也(清水建設)

S2-13 水素燃焼式高温過熱水蒸気を用いた粉末活性炭吸着PFAS分解処理技術の開発(その2)

○大山 将・松生隆司・中島卓夫・平尾壽啓(鴻池組)・足立憲亮・河野友郎(中外炉工業)

S2-14 高濃度PFAS汚染地下水処理への粉末吸着剤の適用に関する基礎検討

○中島誠・今井由香里・佐藤徹朗(国際航業)・西村聡・木滝悠介・角田真之(流機エンジニアリング)

S2-15 PFAS汚染土壌における低温加熱脱着処理の検討

○山野辺純一・大久保敬祐(ケミカルグライト)・ブラーツ(湊)初枝・島田雄太郎(テラサーモアジア)
・為田一雄(福岡大学)・川島正毅(環境技術支援ネットワーク)

S2-16 MRMデータベースを用いた環境水に含まれるPFASの高感度サスペクトスクリーニング

○今野靖・安田恭子・城代航・滝埜昌彦(アジレント・テクノロジー)

S2-17 PFASによる土壌・地下水汚染の国内事例紹介

○岡田雄臣・篠原真希・稲毛孝章・大塚希美子・長谷川甫・PFOS 等およびその前駆体を対象にした土壌・地下水汚染の挙動評価に関する検討部会(土壌環境センター)

S2-18 PFASによる土壌・地下水汚染の海外事例紹介

○椎根大・渡辺菜月・中村太郎・藤崎幸市郎・平尾壽啓・PFOS 等およびその前駆体を対象にした土壌・地下水汚染の挙動評価に関する検討部会(土壌環境センター)

S2-19 除去土壌の最終処分におけるステークホルダーの重要指標の国際比較
—日本、フランス、フィンランドにおけるオンラインアンケート—

○保高徹生・高田モモ(産業技術総合研究所)・村上道夫(大阪大学)・白井浩介(産業技術総合研究所)
・柴田侑秀・大沼進(北海道大学)

S2-20 Treatability study of petroleum hydrocarbon-contaminated soil using thermal ultrasonic-soil washing technology

○Syarif Hidayat・Agus Jatnika Effendi (Institut Teknologi Bandung)・Yoji Aoki・Mitsuhiro Sumikura
・Mark Sueyoshi (Shimizu Corporation)

S2-21 気泡状界面活性剤を用いた機械油・燃料油汚染地盤の非掘削浄化技術の開発

○小島颯太・棚橋秀行(大同大学)・古田淳士・嶋本直人(応用地質)・大島裕之(ミヨシ油脂)

S2-22 Effects of coexisting ions on cesium adsorption by polymeric soil modifiers

○Samuel O. Flemmy・Lincoln W. Gathuka・Kazuto Endo (National Institute for Environmental Studies)

S2-23 地歴調査で収集する資料の使い方に関する調査

○長千佳(土壌汚染対策コンソーシアムWG)・岡本莉子(和歌山大学)・吉田宗久・鍵本司
・藤井なつみ(土壌汚染対策コンソーシアムWG)・江種伸之(和歌山大学)

S2-24 土壌汚染対策届出情報のデジタル化及びオープンデータ化への取り組み

○須藤正大・高橋歩・小熊俊導・井上健仁・田中陽子・金見拓(東京都環境局)

S2-25 汚染土掘削除去工事における三次元計測技術のデータ検証

○松村綾子・椎根大・須藤泰幸・島田曜輔(大成建設)

S2-26 土壌汚染調査対策工事へのDX技術活用事例 — 生成AI技術と点群情報の活用 —

○佐波弘一朗・嵯峨浩靖・松尾晃治・日野良太・竹崎聡・日笠山徹巳(大林組)

S2-27 人工物混じり土の提案 ～特に組成比について～

○鈴木弘明(八千代エンジニアリング)・勝見武(京都大学)

S2-28 森林の土壌微生物叢から考えるカーボンニュートラルとネイチャーポジティブの両立

○吉川美穂・原淳子(産業技術総合研究所)

S2-29 地中熱ヒートポンプシステムの稼働を想定した埼玉県内地下水のスケール生成傾向の予測

○柿本貴志・濱元栄起・高沢麻里・石山高(埼玉県環境科学国際センター)

S2-30 浮遊型人工湿地による硝酸性窒素等を対象とした水質浄化技術の検討

木本朝美(奥村組)・尾形有香(国環研)・長千佳(奥村組)・鈴木奨士(奥村組)・肴倉宏史(国環研)
○清水祐也(奥村組)

S2-31 土壌・地下水汚染の対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について(令和5年度実態調査)

○阿部美紀也・西谷英晃・森脇涼介・河内幸夫・技術実態集計分科会(土壌環境センター)

セッション3 6月26日(口頭発表 9:45～11:20)

S3-01 都内沖積層に係る土壌地下水汚染状況実態把握調査

○須藤正大・松尾龍哉(東京都環境局)・東野和雄・染矢雅之(東京都環境科学研究所)
・森山晃紀・西村修一(中央開発)

S3-02 重金属による地下水汚染現場における廃棄物由来および自然由来の判別手法としての細菌叢解析の適用

○和田卓也(建設技術研究所)・棟方有桂(環境総合リサーチ)・湯浅 忠(建設技術研究所)
・水野貴文(環境総合リサーチ)・川端祥浩(滋賀県琵琶湖環境部)

S3-03 掘削ずりの粒径に応じた不溶化材添加条件の検討及び長期安定性評価

○菅沼棕友・森喜彦・片田直人・松山祐介(太平洋セメント)

S3-04 フライアッシュの重金属不溶処理ならびに造粒固化

○玉越愛・佐藤友一・尾花誠一(アースプロテクト)・石見輝(エコプロジェクト)

S3-05 鉄粉を用いた砒素汚染水処理システムの安定稼働

○黒澤良太・須藤達也・尾崎隆(JFEミネラル)

S3-06 フッ素化合物の不溶化機構の検討

○森田一太・湯浅啓太(石原産業)

S3-07 ふっ素・砒素・ほう素土壌汚染地の鉛直方向の汚染濃度分布の違いによるSR評価結果の比較

○濱端悠斗・藤井沙織・小林剛(横浜国立大学)

S3-08 供用中地下水浄化壁から回収した浄化用鉄粉の脱塩素反応性回復に関する室内検討事例

○須網功二・根岸昌範・島田曜輔(大成建設)

S3-09 酒粕・シードル残渣を用いた過硫酸法によるVOC分解促進手法の開発

○晴山渉・栗津悠(岩手大学)

S3-10 泡消火薬剤由来の高濃度PFASの小型カラム試験における溶出挙動

○正木祥太(フジタ)・松神秀徳・肴倉宏史(国立環境研究所)・岡田正明・野口俊太郎・久保田洋(フジタ)

S3-11 連続抽出によるPFAS汚染土壌の溶出特性に関する検討

○野島智也(ユーロフィン日本環境)・日野良太(大林組)・町田瑞希・関友博(ユーロフィン日本環境)
・西川直仁・日笠山徹巳(大林組)

S3-12 PFAS含有土壌の加温原位置土壌洗浄に関する基礎検討

○山崎祐二・外野圭太(竹中工務店)・吉田邦勝・答島宗史(竹中土木)・田中周平(京都大学)

S3-13 環境水中に含まれる有機フッ素化合物(PFAS)のキャビテーション技術による分解処理の開発(その2)

○大山将・松生隆司(鴻池組)・大坪修平・宇川岳史(ワイビーエム)

S3-14 PFASによる土壌・地下水汚染に対する原位置浄化対策 ～熱活性過硫酸およびアルカリ注水・揚水～ その2

○佐藤徹朗・今井由香里・瀬野光太・中島誠(国際航業)

S3-15 微細な粒子薬剤注入によるPFAS地下水汚染の拡大防止技術

○日野良太・西田憲司・三浦俊彦(大林組)・森田一太・湯浅啓太・大澤誠司(石原産業)

S3-16 PFOA及びPFOS汚染水の各種分解試験結果

○打木弘一(基礎地盤コンサルタンツ)

S3-17 水試料におけるPFAS迅速分析法の提案

○上田祐子・千葉駿介・松田壮一(三浦工業)

S3-18 PFASを吸着した粉末活性炭からのPFAS抽出条件の検討(その4) -超短鎖PFAS分析の検討-

○中井智子・米澤武志・武智友裕(MIZUKEN)・大山将・平尾壽啓(鴻池組)

S3-19 油のバイオレメディエーションにおける温度影響の評価

○岩橋さおり・鴻野雅一(バイオレンジャーズ)・伊藤哲郎(三井住友建設)

S3-20 Caesium adsorption/desorption behaviour of polymeric soil-modifying agents

○Lincoln W. Gathuka・Samuel O. Flemmy・Kazuto Endo (National Institute for Environmental Studies)

S3-21 放射性セシウムおよび重金属汚染土壌の再生利用における多面的価値と社会受容性

○高田モモ・保高徹生・鈴木薫(産業技術総合研究所)・三成映理子(国立環境研究所)
・岩崎雄一・松本親樹(産業技術総合研究所)

S3-22 福島県内における除染等の措置に伴い生じた高濃度土壌の処理・処分シナリオ分析

○三成映理子・山田一夫・遠藤和人(国立環境研究所)

S3-23 地盤情報の3D可視化ツールを活用した土壌汚染調査・対策計画支援～その2～

○松尾晃治・佐波弘一朗・竹崎聡・児島理士・高橋真一・日笠山徹巳(大林組)

S3-24 汚染土壌のサイト固有な生態リスク評価のための地盤環境TRIADアプローチ(ISO 19204)に関する検討

○門間聖子・古川靖英(土壌環境センター)・神谷貴文(土壌環境センター・静岡県環境衛生科学研究所)
・ISO/TC190検討部会(土壌環境センター)

S3-25 土壌汚染調査・対策におけるプロジェクト情報データベースの構築

○須藤泰幸・中平淳・松村綾子・島田曜輔(大成建設)

S3-26 透過性地下水浄化壁(吸着)に関する適用可能性試験の検討

○山崎将義・佐藤毅・三浦英俊・森川航平・西田憲司・土壌汚染の除去等の措置の適用可能性試験
に関する調査・検討部会(第2期)(土壌環境センター)

S3-27 最終処分場の浸出水量と水質の関係に基づく水質の将来予測

○大洞輝雄・仁科豪夫・北畠義裕(応用地質)

S3-28 単孔式加熱型流向流速計による地下水流向流速の測定

○石井六夢・三浦英俊・菅谷隆将(JFEミネラル)・宮崎基浩・原澤剛史(芙蓉地質)

S3-29 CO₂固定における重金属類の取り込み効果の検証

○原淳子・佐山和弘(産業技術総合研究所)

S3-30 膜養生材の生分解度評価と主成分のポリ酢酸ビニルを分解する土壌細菌の同定

○河野麻衣子・森村浩司・多田羅昌浩・河合達司・田淵哲也(鹿島建設)

S3-31 土壌・地下水汚染の対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について(経年変化とその考察)

○熱田真一・阿部美紀也・西谷英晃・鈴木弘明・技術実態集計分科会(土壌環境センター)

セッション4 6月26日(口頭発表 14:40~16:15)

- S4-01 Fluoride immobilization in Waste Plasterboard: A Sustainable material for the recovery of fluoro/hydroxyapatites
○Venkataraman Sivasankar・Kiyoshi Omine・Mostafa Ahmed・Hideki Sano (Nagasaki University)
- S4-02 ヒ素吸着後の使用済Mg系及びCa系吸着材の環境安定性に及ぼす土壌の影響
○杉田創・森本和也・斎藤健志・原淳子(産業技術総合研究所)
- S4-03 土壌汚染対策工事におけるバイオ炭混合浄化済土の埋土材としての可能性とCO₂排出量のオフセット効果の検討
○舟川将史・鈴木理恵・藤崎幸市郎・山崎祐二(竹中工務店)
- S4-04 自然・人為由来の鉛汚染土壌に対する凍結融解現象と酢酸を用いた洗浄技術
○廣瀬剛(奥村組土木興業)・乾徹(大阪大学)・伊藤譲(摂南大学)
- S4-05 セレン還元菌群のバイオオーグメンテーションによる掘削ざり中セレンの不溶化
○片田直人・菅沼椋友・七尾舞・花田晶子(太平洋セメント)・青柳智・堀知行(産業技術総合研究所)
- S4-06 再生資源材を利用した土壌改質材による重金属等不溶化に関する検討
○三原洋一・善如寺唯・伊藤浩(東急建設)
- S4-07 地盤環境の還元化による地下水中の六価クロム濃度抑制に関する実証実験
○加藤顕・竹崎聡・松尾晃治・日笠山徹巳(大林組)
- S4-08 潮汐影響を受ける油汚染サイトにおける対策検討
○椎根大・大石力・須網功二・島田曜輔(大成建設)
- S4-09 原位置加熱脱着処理に関する適用可能性試験の検討
○山野辺純一・ブラーツ初枝・島田雄太・大久保敬祐・西田憲司・土壌汚染の除去等の措置の適用可能性試験に関する調査・検討部会(第2期)(土壌環境センター)
- S4-10 粘性土中に湿潤した高濃度CVOCの溶出促進技術の検討
内山諒亮・柴田真輝・島朋輝・○小林剛(横浜国立大学)
- S4-11 有機フッ素化合物(PFAS)を対象とした工場等におけるフェーズ I 調査時の課題および課題解決のための検討
○今澤義夫・佐藤徹朗・吉原昌宏(国際航業)
- S4-12 PFASによる地下水汚染への修復支援の取組み
○竹村建人・嶋本直人・青木勝宏・山田大介・浅野裕一(応用地質)
- S4-13 環境水中に含まれる有機フッ素化合物(PFAS)の粉末活性炭吸着処理に関する検討(その3)
○大山 将・松生隆司・中島卓夫・平尾壽啓(鴻池組)
- S4-14 泡消火薬剤希釈液を用いた模擬汚染土壌中 PFAS の繰り返し洗浄
○野口俊太郎(フジタ)・松神秀徳・肴倉宏史(国立環境研究所)・塩尻大輔・正木祥太(フジタ)
・野島智也(ユーロフィン日本環境)
- S4-15 環境省実証試験および親水公園のPFAS地下水浄化結果について
○山内仁・西村章(流機エンジニアリング)・高柳宏・新垣千紘(太名嘉組)
・安原雅子(エンバイオ・エンジニアリング)・草場周作(草場環境)
- S4-16 地下水保全のためのPFAS含有泡消火剤の浄化検討
○鷹觜寛人・大悟法弘充(アースクリエイト)・原祐貴・佐々木快・高山 恭平(流機エンジニアリング)
・草場周作(草場環境)
- S4-17 PFOS・PFOA土壌汚染に対する熱処理技術の適用検討
○平尾壽啓・大山将・中島卓夫(鴻池組)・谷口省吾・尾崎博明(大阪産業大学)

S4-18 環境水中PFAS分析における前処理操作の効率化

○榎本幹司(栗田工業)・菊池毅(ランドソリューション)

S4-19 PFASを吸着した粉末活性炭からのPFAS抽出条件の検討(その3)
ーUS EPA Method 1633対応PFAS 40成分分析の検討ー

○中井智子・米澤武志・武智友裕(MIZUKEN)・大山将・平尾壽啓(鴻池組)

S4-20 インドネシアにおける原油採掘由来の油汚染土壌の浄化検討

○青木陽士・隅倉光博(清水建設)・Syarif Hidayat(バンドン工科大学)・マーク末吉(清水建設)
・Agus Jatnika Effendi(バンドン工科大学)

S4-21 Chernobyl原発避難区域における地下水中の放射性セシウム等の調査

○藤川陽子(京都大学)・Dmitri Bugai(ウクライナ地質調査所)・Gennady Laptev(ウクライナ水文気象研究所)
・Sergey Kireev(ウクライナ国立エコセンター)・Mykola Panasiuk(ウクライナ原子炉問題研究所)

S4-22 福島県内除染措置に伴う除去土壌等の運搬データ分析

○遠藤和人・三成映理子・山田正人(国立環境研究所)

S4-23 除去土壌を分級処理して得た砂のコンクリート用細骨材としての利用に関する検討

○山本達生・木川田一弥・保坂幸一(除去土壌等減容化・再生利用技術研究組合)

S4-24 人への曝露に関する土壌の特性評価(ISO15800)に関する検討

○小河篤史(土壌環境センター)・肴倉宏史(国立環境研究所)・平田 桂
・ISO/TC190検討部会(土壌環境センター)

S4-25 揚水井戸や遮水壁を用いた汚染地下水拡散防止対策に関する費用試算

○柴田健司・竹崎聡・杉江茂彦・鈴木和明・日笠山徹巳(大林組)

S4-26 東京都における土壌・地下水汚染の調査・対策時に配慮すべき浅層部の凝灰質粘土層分布状況

須藤正大・遠藤尚宏・金見拓(東京都環境局)・堀雅明・西山昭一・成田美香(応用地質)

S4-27 事前中和が不要な凝集沈殿処理における環境負荷低減効果
～鉄粉を用いたアルカリ濁水の高速凝集沈殿処理の実証～

○近藤俊介・海野円・根岸昌範・高畑陽(大成建設)

S4-28 廃棄物の二酸化炭素固定量とアルカリ溶出特性

○山崎智弘(東洋建設)・渡辺研(愛知臨海環境整備センター)・福田慶吾・大熊広樹・納庄一希(東洋建設)

S4-29 一般・集合住宅の建物解体時に表層土に混入する夾雑物の調査

○田島創(群馬県立産業技術センター)・熊谷豊(石坂産業)・小松秀和・綿貫陽介
・町田晃平(群馬県立産業技術センター)

S4-30 土壌汚染情報のコミュニケーション環境の構築

○児玉晃・鍵本司・大図啓史・吉田宗久(CSCC)

S4-31 地下水汚染に対する合理的な措置を進めるための指針の公開方針について

○高畑陽・塩谷剛・和知剛・佐藤徹朗・土壌・地下水汚染に関する合理的な対応方法の活用
および普及検討部会(土壌環境センター)